

大日山35号墳 石室出土須恵器について

学芸課 仲辻慧大

大日山35号墳概要

- ・墳丘：長86m 前方後円墳 3段 南向き 造出し2
- ・埋葬施設：横穴式石室 石梁 石柵
- ・調査歴：1967年 関西大学による石室測量（関西大学1967『岩橋千塚』）
2003年～2004年 財団法人和歌山県文化財センター 発掘調査

石室出土須恵器

- 器種：高杯形器台 杯部 6（2個体分か）
器台 脚部 10（2個体分）
有蓋高杯 杯部 7
蓋 2
高杯 脚部 9（うち2は有蓋長脚2段高杯か）
甕 口頸部 1（1個体分）
子持器台 小壺 3
把手 1

型式：MT15型式期～TK10型式期（MT15より）
※墳丘出土のものはTK10型式期が主体か

胎土：精良なものと荒いもの（大阪府陶邑窯産のものと別地域のもの 地元？）
大阪府千里窯のものではなさそう

出土状況：かく乱状態での出土 原位置不明